

## 「ずっとなかよし いきもの大きせん！」

### 【単元の概要】

秋の虫の鳴き声を聞き、秋の虫と仲良くなりたいたいという意欲を高めてから、虫探しに出かけます。しかし、1回目は準備なしで出かけ失敗体験を味わいます。そこから、どのようにしたら虫と仲よしになれるか、虫が捕まえられるか、虫を捕まえるためには何が必要かなどを考え、見通しをもってから2回目の虫探しに出かけます。

捕まえた虫は、捕まえた場所に似たすみかや餌のいいのではないかと予想し、よりよいすみかにするにはどんな工夫ができるかを、調べたり、友達と交流したりしながらすみかを作り、虫に親しみをもち、命を大切にすることを育てるようにしていきます。

### ◆単元の目標

校庭の植え込みや近くの野原に行って虫を探し、捕まえた虫を飼う活動を通して、すみかや餌、体の様子や動きなどに関心を持ち、生き物は生命をもっていることなどに気づき、親しみをもち命を大切にすることができるようにする。

### ◆単元の計画（全10時間）

校庭での遊びや学校の周りの探検を通して、身近な生き物に目を向けることができるようになっている。教室に舞い込んできたクワガタに名前を付けたり、世話をしたりしている児童もいる。

#### 【課題の設定（1時間）】

- ・スズムシなどの秋の虫の鳴き声を聞き、クワガタ以外にも、秋の生き物とも仲良くなりたいたいという思いや願いをもつ。
- ・家や幼稚園・保育所等で、生き物と関わった経験や、生き物について知っていることなどを出し合う。
- ・夏の探検で見つけた生き物と最近の生き物の様子の違いなどについて目を向ける。

#### 【情報の収集、整理・分析、実行（4時間）】

- ・仲良くなりたいたい虫は、どこにいるのか考える。
- ・虫探しの場所を決め、虫を探しに出かける。
- ・失敗した1回目の経験や今までの経験から、虫を傷つけずに捕まえる方法、虫捕りの準備に必要なことや物を具体的に考える。
- ・再度虫探しに出かけ、自分のやり方で試し、うまくいかない場合には友達にアドバイスを求めるなど、工夫して虫を捕まえる。

#### 【振り返り、課題の設定（1時間）】

- ・虫を捕まえた場所や捕まえ方、どうやって仲良くなりたいたいかなどについて記録カードにまとめる。
- ・虫を見せ合いながら、捕まえた虫とどうやって仲良くなりたいたいか伝え合う。
- ・仲良くなるために世話をしたいという課題をもつ。

#### 【情報の収集（1時間）（常時活動）】

- ・捕まえた虫の体の様子や動きなどを、しっかり観察する。
- ・観察して分かったことを、みつけカードにかきためていく。
- ・もっと虫と仲よしになるために、どんなことができるかを考える。
- ・どんな餌やすみかが必要なのかについて本で調べたり、家の人や先生に聞いたりして情報を集める。

#### 【情報の収集、整理・分析（1時間）】

- ・教師のつくったすみかや餌を参考にしながら、自分が飼っている虫にはどんなすみかや餌が必要か考える。
- ・なぜそのすみかや餌にしたのか、理由付けをしながらワークシートに記入する。

#### 【実行、まとめ・表現（1時間）（常時活動）】

- ・集めた情報を基に、虫のすみかをつくり、餌をあげたり、虫と遊んだりする。
- ・仲よしになった虫の特徴やすみかなどについて、グループで伝え合う。
- ・「○○さんみたいに、もっと上手に世話をしたい。」という思いをもち、継続して虫を飼い、様子を見たり、調べたりする。

#### 【まとめ・表現、振り返り（1時間）】

- ・これまでの活動を振り返り、できるようになったこと、分かったこと、もっとやってみたいことなどをクラスや昆虫のことを勉強している3年生に伝え、感想をもらう。